



「FXIJ」の導入・検証が進行している

ク製造の内製化にも着手。グラビア印刷用の製版機も扱う同社は感光剤も製造しており、社内の人材・ノウハウを活用して本社近隣にインク製造専用工場を竣工させ、年内の稼働開始を予定している。

印刷品質に関して、ブランドオーナーをはじめ、軟包装分野の印刷会社からも評価され「フレキシ印刷を行っている企業からは『コンベンショナル印刷とそんなに』と認められた。こうした品質面の向上に加

え、インクの内製化によって、現実的なコストで小ロットからの軟包装製造が可能になった」と(同社)と説明する。さらに、定着性や擦過性など表刷りの検証も進めており、多彩なニーズに応じた製造体制の実現を目指している。

FXIJは国内外ですでに出荷実績を持ち、ブランドオーナーによる軟包装の内製化事例も顕在化。コロナ禍で印刷立ち会いも難しい状況下、試作品や新商品に「極小ロット製造を柔軟につながる」と説く。



インク製造を内製化し専用工場も竣工 印刷から加工までを披露できる拠点も

株式会社ラボトリー(千葉県柏市高田、重田龍男社長、☎0477-143-6760)は軟包装向け水性インクジェット(水性)方式のデジタル印刷機「FXIJ」シリーズを展開。インク製造の内製化や表刷り対応の検証などを進め、導入に際しての課題解消に努めている。印刷と加工ソリューションを体験できる拠点「FXIJ B.M.F」も本社内に開設しており、軟包装のデジタル化を支援。印刷会社から品質が認められ、ブランドオーナーへの導入が加速している。

FXIJはCMYKと白している。インクを搭載し、解像度1200dpi、印刷速度は最大で毎分70枚。印刷幅500mmの「FXIJ type 500」と価格2018年2月に1000万の「同1000」、さらにターレットリの自動販売機専用菓子の「同1000 Full Auto」の3種をラインアップ 刷に採用され



当日に撮影した写真を即時デザインに組み込んで印刷するデモを実施し 関心を集める

印刷・加工を実績 環境負荷低減にも FXIJのポテンシャルを訴求するため、ビジネスモデル工場(Business Model Factory)と称したデモセンター「FXIJ B.M.F」も開設している。スリットやラミネーター、製袋機といった後加工機も設備し、実際の製造ラインに即

取得組みにチャレンジしたという企業から反響を得ている」と(同社)とし、来

社した人物の顔写真を撮影して、FXIJで即時印刷するなどのデモンストレーションを披露している。「発想をすぐ形にできる」と好評。これまでは発注から納入まで1.2週間かかっていた印刷が即日中にできるとなれば、市場ニーズへのレスポンスを最適化できる」と(同)と強調。商品の企画から販売までのダウンタイムを削減し、マーケティング施策に合わせた

ureFlex」や日本製紙㈱の「SHIELD PPL US」などにも印刷適性を示すほか「FXIJの印刷開始時の損紙は10枚未満で、コンベンショナル機と比較してわずかなロスで済む」と(同)としている。

### シンク・ラボトリー

## ブランドオーナーらの導入増加傾向

### インク内製化し現実的なコストに

さらなる用途開拓に向け、SDGsに貢献する環境負荷軽減についても深耕。環境対応型基材であるフタムラ化学㈱の「Natural」を発売。ブランドオーナーと印刷会社双方からこれらの有用性を認められ、採用事例が増加している。ブランドオーナー発のさらなる事例発表も期待されており、継続的な市場ウォッチが欠かせない。

ブランドオーナーによる内製化も一部でみられる中、印刷会社は基材や加工の提案に加え、販促・ロス削減などに対して印刷物をどのように生かすのかといった知見も求められる。

軟包装のデジタル化は、SDGs対応や環境負荷低減、働き方改革、プロモーションの支援といった多彩なメリットを發揮。ブランドオーナーと印刷会社双方からこれらの有用性を認められ、採用事例が増加している。ブランドオーナー発のさらなる事例発表も期待されており、継続的な市場ウォッチが欠かせない。